

大型工事（大手向け）の過度な入札制度 年間数億円にのぼるムダをなくせ！

川崎市議会議員

まちづくり委員会副委員長

野田まさゆき

平成29年がスタート致しました。本年も市民・区民の皆様への市政発展に全力で取り組んで参ります。

**過度な評価項目設定
入札参加者が激減**

算の中で将来を見据え計画的に行う事が求められます。

その中で川崎市は入札参加者の評価項目に「本市3年以内の施工実績・配置技術者の実績」などを設けています。バブル崩壊以降減少し続けている公共工事の為に、市内での実績を満たす大手・準大手・中堅クラスの建設会社は減り続けています。

川崎市の過度な評価の設定が足かせとなり、入札参加業者は激減（1者入札が多発）、予定価格に対する落札価格の異常な高止まりが続いています。

この様な事態が現在まで見過ごされてきた事に大きな疑問を呈し、大至急の改善を求めました。

制度改善と、市内業者に更なる活躍の場を！

震 震 また年末には新潟県糸魚川市における大規模火災など、大きな災害が発生した年でありました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

現在、川崎市発注の大型工事には、総合評価落札方式が採用されています。

加えて、競争原理の働かない現状により、落札率99%以上が頻発、仮に多数者入札時の平均落札率との差額を試算すると年間数億円にのびます。

大きな災害などに備え、市民の命と財産を守る公共施設の整備は、限られた予算

競争働かない1者入札
高い落札率に苦言

1者入札で競争原理の働かない現状により、落札率99%以上が頻発、仮に多数者入札時の平均落札率との差額を試算すると年間数億円にのびます。

地震ブレイカーの設置
モデル事業がスタート

以前から取り組んできた震災火災の出火を防ぐ「地震ブレイカー」の設置促進が一步前進しました。市内で初めての設置モデル事業が、密集市外地の幸町3丁目でスタート致します。



野田まさゆき

- 平成27年初当選
- まちづくり委員会副委員長
- 昭和44年生まれ
- 日本大学理工学部卒
- 東急グループで17年間勤務
- 衆議院議員公設秘書

公式サイト noda.co

総合評価落札方式とは

従来の公共工事における入札は価格競争が原則でしたが、工事の品質低下、不良工事の発生、労働条件の悪化、安全対策の不徹底などを防止する観点から、入札参加者の技術的能力等も価格と共に評価の対象とし、落札者を決定する方式。

川崎市における主な工事の共同企業体発注の条件

土木工事

1.5億円以上から

建築工事

5億円以上から

上下水工事

2億円以上から

野田まさゆき

新春のつどい

日時 平成29年3月3日(金)

午後6時30分より

会場 川崎市産業振興会館

会費 3,000円